

# 駆け出しのころ



土木技術者として全国の現場での出会いが、さまざまな縁をつないでくれたと思います。大学卒業後、地元・北海道の建設会社に入社し、大成道路（現大成ロテック）が施工する現場に2年間技術者として関わり、当時の現場の作業所長にも気に入られ、大成道路に入社することになりました。

**大成ロテック 取締役  
常務執行役員 営業本部長**

## 植 貢氏

30代前半の札幌作業所時代に担当したサッポロビールの大規模開発プロジェクト「サッポロファクトリー」も思い出深い現場です。12社構成のJVで職員約50人のうち、土木技術者は出向者の自分一人。建物同士をつなぐ地下通路を構築する現場で、供用中の幹線道路をオープン掘削で覆工する難工事でした。道路下には数十本の埋設管があり、つり防具で管を支えて随時監視しながらの掘削作業。万が一、大きなガス管や水道管を破損したらと想像すると、冷や汗が止まりませんでした。入社8年目には当社最北の遠別作業所に異動し、舗装関連の仕事が中心となりました。

## 人とのつながりが財産に

心となりました。遠別での9年間は舗装のことを勉強しながら合材の工場長、作業所長を任せてもらいました。生まれ故郷に近く、身内の看病などで大変だった時も部下のみんなが作業所を守り、支えてくれました。感謝の言葉しかありません。



30代前半。北海道の土木現場（遺跡出土調査）で

昔から一度仕事を一緒にやると、長年付き合いきたような感じてみなど親しくなりました。現場の職長や一般の作業員など、多くの方々に「植さんの現場ならどこにでも行くから」と温かい声を掛けられるのはありがたいがたく、人とのつながりはかけがえのない財産です。

人との付き合い方で特に意識していることはありませんが、地元で建設業を営んでいた父親の「人の集まらない家、人が集まらない会社は栄えない」という言葉が今も耳に残っています。幼少のころから周囲に多くの人が集まっていたので、基本はさみしがり屋なのだと思います。

（うえ・みつぐ）19

80年北海道工業大学工学部土木工学科卒。89年大成ロテック入社。北海道支社営業部長、本社企画情報部長兼監査部長、執行役員北関東支社長、同営業本部副本部長などを経て2020年から現職。北海道出身、62歳。